

# 対策協議会、近く立ち上げ

## 健康起因事故

### 検査機器・方法 情報共有し普及

国土交通省は、トラック、バス、タクシードライバーの健康起因事故の抑止に効果のある検査機器や検査方法の情報を共有し、全国に普及させることを目的に、産官学による「事業用自動車健康起因事故対策協議会(仮称)」を近く立ち上げる。

脳・心臓疾患、睡眠時無呼吸症候群(SAS)などによる、ドライバーの健康に起因する事業用自動車の交通事故件数は増加傾向にあり、事故削減の妨げとな

っている。国交省自動車局は14年4月に「事業用自動車の運転者の健康管理マニ

ユアル」を改訂し、主要疾病に関するスクリーニング検査などを推奨してきた

が、今後は更に対策を強化する。

健康起因事故抑止のあらゆる対策の基盤とするため、交通事故・医療関係の有識者、ヘルスケア関係団体、事業用自動車団体などで構成する協議会を設置。自動車局を交えた情報交換により、最新の検査機器・

方法などを全国的に普及させる。

協議会では、マニュアルの実施状況に関する調査やフォロアアップとともに、スクリーニング検査を実施する主体、検査方法、機器に関する情報収集などを行う予定だ。

(田中信也)